

平成 28 年度 「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」) の結果の概要と今後の取組 東淀中学校

■ 調査内容

学年	英検 (目安)	テスト内容		満点 スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3 年	英検準 2 級～ 5 級レベル	35 題	30 題	1100 点
2 年	英検 3 級～ 5 級レベル	35 題	30 題	1000 点
1 年	英検 4 級・ 5 級レベル	35 題	25 題	800 点

■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率(%)】

3 年	学校平均スコア (点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	673 点	43.8%	43.8%	43.5%	17.3%
	市平均スコア (点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
2 年	723.9 点	54.0%	56.6%	51.1%	38.9%
	学校平均スコア (点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	636 点	60.0%	52.8%	61.2%	57.9%
1 年	市平均スコア (点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	650.6 点	64.1%	58.4%	61.8%	61.4%
	学校平均スコア (点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
1 年	496 点	61.3%	46.1%	60.1%	78.8%
	市平均スコア (点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	509.2 点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3 年	文法・読解・リスニングのどの分野においても市内平均を下回るが、これはどの分野にも偏りが無いことを表している。毎時間の帯学習と繰り返しのドリル活動に力をいれ、全体的な底上げを図りたい。
2 年	「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の 3 分野において、市平均スコアを下回っている。特に、「読解」の分野が、市平均より 5.6 ポイントも下回っている。読解の理解を深めるために、本文以外のある程度まとまった量の英語を読ませ、内容理解を図る取組みを増やす必要がある。
1 年	市の平均を全体的に下回っており、このままでは今後更なる広がりが懸念される。そのため語いに対する小テストを継続する一方、語い力の底上げを計るべく単語コンテストを行事として行い、既習単語の復習に取り組む。